

～本との出会いがつくる「元気なみなまたづくり」のススメ～

あなたの想いのつまった本棚で
そこにしかない出会いが生まれる
場所をつくってみませんか？

本よみ場

-minacle book bar-

参加案内

〔 2015. 2. 20発行 〕

水俣市「日本一の読書のまちづくり」推進事業

水俣市教育委員会

「本よみ場 -minacle book bar-」とは

水俣に暮らすさまざまな人が、それぞれに想いのつまった本棚をつくり、その本棚がある「場」を訪れる人が、そこにしかない本と出会い、相互に本を通して交流を楽しむ空間…それが「本よみ場」です。

「本よみ場」では、本が人と暮らし、人と人をつなげ、人が持つ感性や創造力を引き出す豊かな交流が生まれます。

参加要件

- ①水俣市内にある事業所、団体等であること。
 - ②施設内に本棚と本を設置するスペースがあること。
 - ③来訪者に本棚を公開することを承諾していること。
 - ④本や読書を通じた交流ができること。
- ※参加団体の営業等に支障をきたさない範囲での実施が前提です。

参加内容

- ①オススメしたい本や思い出のある本を施設内の本棚に置きます。
 - ②スタッフはもちろん、来訪者もそこにしかない本や人との出会いを楽しみます。
- ※蔵書の貸出は行いません。市立図書館団体貸出を利用した本はもちろんですが、原則として、個人蔵書についても貸出は行いません。

「本よみ場 -minacle book bar-」参加の流れ

- ① 「参加申込書」を提出する。
* 市立図書館にご持参もしくはFAXにて提出ください。
- ② 参加内容確認のための訪問（取材・写真撮影）等を受ける。
* 市立図書館職員が確認を行います。
- ③ 「参加確認通知書」が届く。
* 「本よみ場」関連の掲示物もお渡しします。

「本よみ場 -minacle book bar-」オープン！！

※蔵書については、市立図書館団体登録により、市立図書館の蔵書を利用できます。

※参加申込後も実施内容の変更や参加を取りやめることができます。

※参加に伴う費用、蔵書紛失等については、原則として参加団体の負担及び責任となります。ただし、運営に関しての相談（蔵書内容、本棚展示方法等）は、随時市立図書館が対応します。

※周知活動（マップ制作、ホームページでの紹介等）については、水俣市立図書館が主体となって行います。

「参加申込書」記入例

様式第1号

平成27年2月20日

「本よみ場 - minacle book bar -」参加申込書

申込事項	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 中止			
団体名	みなくる Café			
代表者職氏名	皆又 来留代			
担当者氏名	本賀 大数奇			
所在地	〒867-0065 水俣市浜町 2-10-26			
連絡先	TEL	63-8401	FAX	84-9119
	E-mail	★★★@minalib.jp		
営業時間	火曜日～金曜日 午前9時～午後7時 土・日・祝日 午前9時～午後5時			
休業日	月曜日（祝日となる場合はその翌日） 第4木曜日、年末年始、特別整理期間（年間14日）			
HPアドレス	http://www.minalib.jp/			
本棚名	みなくる文庫			
蔵書内容 (ジャンル・冊数等)	赤ちゃんから大人まで楽しめる絵本（30～50冊）			
「本よみ場」関連 周知資料掲載 希望PR文 (60字以内)	絵本が大好きなので、赤ちゃんか			
	ら大人まで、誰もが楽しめる絵本 が中心です。手作りパンとご一緒 にお楽しみください！			
水俣市立図書館 団体登録	<input checked="" type="checkbox"/> 登録済 <input type="checkbox"/> 登録希望あり <input type="checkbox"/> 登録希望なし			
備考 (要望等)	本の内容を紹介する方法を知りたい。			

【参加申込先】
水俣市立図書館
〒867-0065 水俣市浜町 2-10-26
TEL63-8401 FAX84-9119

「蔵書をもっと増やす方法はないか」
「見やすい本の展示方法はないか」など
気になったことは何でもお書きください。

「本」が持つ人を惹きつける力と水俣にあるさまざまな「場」を組み合わせ、読書のまちづくりから元気な水俣づくりにつなげたい…そんな想いがこの「本よみ場 -minacle book bar-」には込められています。本との出会いと交流を楽しむ空間が、水俣のいたるところに生まれることを願っています。

Q. 参加するメリットは？

- A. 団体の運営やお店の営業、日々の暮らしに役立つ本が見つかるかもしれません。また、来訪者へのサービス充実にもつながります。

Q. 参加するのに一番大切なことは？

- A. 来訪者に「なんで本があるんですか？」と聞かれたとき、「うちは本よみ場なんですよ！」と答えることができることです。そして、本棚をつくっているみなさんが誰よりも本との出会いや交流を楽しんでいることです。

Q. 貸出の希望があったときは？

- A. 貸出は行いません。市立図書館団体貸出を利用した本はもちろんです、原則として、個人蔵書についても貸出は行いません。

Q. 交流ってなにをするの？

- A. 本を通して言葉を交わすこともですが、本を置くことや本の紹介文を掲示することなども大事な交流となります。

Q. はじめたいけどよくわからないときは？

- A. まずは、お気軽にお問い合わせください。蔵書については、市立図書館の団体貸出も利用できます。また、本棚の展示方法等についてもご相談ください。

Q. 参加してから困ったことがあったときは？

- A. すぐに、ご相談ください。どうしても営業等に支障をきたす場合は参加を取りやめることもできますので、安心してご参加してください。

モンブランフジヤ
「みなまる文庫」



民家れすとらん大山
「まっじま文庫」



九州労働金庫水俣支店
「ツカエルろうきん本棚」

